

総合工学委員会原子力安全に関する分科会
福島第一原発事故調査に関する小委員会
第24期・第7回 議事録

平成31年2月21日
作成 澤田 隆

1. 日時 平成31年2月18日(月) 10:00~12:00
2. 場所 日本学術会議5階 5-B会議室
3. 出席者 松岡委員長、白鳥、関村、柘植、成合、矢川、宮野、吉田、澤田幹事 (越塚、中村、山本欠席)
4. 配付資料
 - 資料1 前回議事録案
 - 資料2 津波を例とした新知見への取組み—取りまとめ状況と最新の動向—
 - 資料3 原子力安全規制の課題
 - 参考 ISO31000 Risk management-Principles and guidelines
5. 議事
 - 1) 前回議事録の確認(資料1)
 - ◎ 承認された。
 - ◎ 松岡委員長から、総合工学委員会の査読に関し、1名からコメントが来たが。もう一名からは未着なので催促すると現状報告があった。
 - 2) 新知見への取組み(資料2)
 - ◎ 吉田委員より、2017年9月時点の記載内容とその後の動向をまとめたとして資料2の説明があった。
 - ◎ 議論
 - 新知見の定義が不明確。
 - 規格基準に反映されていない知見?
 - 他分野では知られているが、当該分野では知られていない知見?
(総合工学の必要性)
 - 新知見の見出し方、取り扱い(規格基準への取入れ方)について、原子力や津波だけでなく、広く工学一般に適用できる「提言」を出すことを努力目標とする。
 - 新知見を見出すことに責任を持つのは誰か? 新知見を規制に取り入れるべきかの判断に責任を持つのは誰か?
 - この論点は、規制の在り方(規制は何にどこまで責任を持ち、被規制者

は何にどこまで責任を持つべきか) の議論と重複するのではないか？

3) 規制の在り方について (資料3)

◎ 宮野委員より、関村委員の8点の論点に対するコメント等をまとめたとして資料3の説明があった。

◎ 今後、この資料も参考に規制の在り方についての議論を深めることとした。

4) 次回 2019年4月2日(火) 10:00~12:00

以上